

五月十八日 日曜日 熊本市代継橋周辺の白川河川敷で「白川リバースクール i-本荘・慶徳」が開催され、約三十名の子どもたちの歓声が白川に響きました。白川の代継橋から長六橋間の両岸が、国土交通省の環境整備事業により白川憩いの空間として今年の三月に完成しました。この空間の完成を祝うと共に、この空間を活用した体験活動を本荘校区まちづくり委員会と慶徳校区まちづくり委員会が主催して行いました。式典の後には、川で楽しく遊ぶために必要な安全対策についての出前講座やカヌー体験、川遊び体験、水生生物観察が行われました。

カヌー遊び体験では元気よく水をかけあつて楽しんだり、泳いだりとアクティブライトな体験をしていました。また、水生生物観察では、水中の石の裏に棲んでいたヒゲナガカワトビケラなどの水生昆虫に「発見」と「驚き」の新鮮な表情を浮かべていました。

今日の催しを通して、川に対する興味、感心をもつてもらい、今後、これらの空間をどのように利活用して行きたいのか?また、どのように利活用するべきなのかを考えるきっかけになれと感じました。



**完成式典**では主催者からこの場所が完成した喜びと、今後、この場所を利活用した活動展開について挨拶がありました。



**川の安全講習**では、水防災出前講座により、川で遊ぶ時の注意と安全対策について説明がありました。



**川遊び体験**では、川の中に入り水の冷たさを感じながら川での遊び方を体験しました。



**カヌー体験**はやはり、子どもたちにとって大人気!! 水をかけあいながら白川に触れました。



**水生生物観察**ではヒゲナガカワトビケラや川の魚の卵(孵化する様子)を発見しました。

# 白川わくわくランド ニュース

第34号

## 発行

●白川流域住民交流センター(白川わくわくランド)  
〒860-0854  
熊本市東子飼町8-55  
TEL (096) 346-5454  
FAX (096) 346-5411  
ホームページアドレス  
<http://www.wakuwaku-land.com>  
メールアドレス  
[wakuwaku@wakuwaku-land.com](mailto:wakuwaku@wakuwaku-land.com)

**発見!!  
魚の卵?**  
新しい命が生まれる瞬間を目撃しました。

## 白川の橋(30) みらい大橋



河口から数えて30番目の橋。橋長は660m、総幅14.5m。菊陽町の北側台地と白川をはさんで、南側の平地を直線的に結んでいるので白川に架かる橋としては長い橋である。

所在地は、菊池郡菊陽町津久礼で、県道138号、バス路線辛川鹿本線にある。

橋梁下一帯は、梅ノ木遺跡で圃場整備に伴い昭和57年に発掘調査が行われた場所である。

2000年ほど前からの堅穴住居跡が、200軒を超える数で見つかっており、そのほか墓や土器などの生活用品が出土している。現在は埋め戻し、橋の下一帯は、公園化され町民の憩いの場となり、墓の一部も移設されている。

また、この橋がまたいでいる県道207号沿いには、白川に沿って今石横穴群が点在し、白川沿いに、長い間人々が大きな邑をつくって生活していた様子が想像できる。



写真提供 国土交通省立野ダム工事事務所

# 白川わくわくランド寺子屋

## 「白川中流域・大津の自然と歴史」

（上井手堰から上井手をたどる）



参加者	講師	日時
菊池郡大津町瀬田上井手 取り入れ口	飯富英博 池田國廣氏	平成二十年三月二十二日(土) 九時～十五時
菊池郡大津町瀬田上井手 取り入れ口	学芸員 指導員	大津町教育委員会
三十一名		

上井手沿いに植えられたソメイヨシノの薔が大きく膨らんだ三月二十二日、上井手の学習会を行いました。上井手は、耕地拡大のために加藤清正が構想し、細川氏の時代に完成した水路です。大津町瀬田で白川から取り入れられた上井手の水は、大津町・菊陽町原水・合志市沖野・菊陽町花立・合志市須屋などを経て熊本市飛田で、植木町方面から流れ下る坪井川に流れ込みます。その途中「堀川」と名前をかえます。

今回の寺子屋は、白川の取り入れ口から、大津の街中への入口「吐」までを現地で学習しました。



瀬田・大林間にある内山渓谷からの大水がこの少し上流の上井手に流れ込み、洪水をおこすので、その処理のために造られた堰。江戸末期の大津手永総庄屋・山隈権兵衛の事業の一つ。大水を内山堰から下井手・白川本流へと逃がす仕組みを作った。



文政の碑文。上井手取水堰から200mほど下流にある。寛政・文政の2度の洪水で上井手が壊れ、取水口をここに移した経緯を刻んだ碑。



白川北岸の大津・菊陽・合志などの地を潤す用水路の堰である上井手堰について講師の説明を聞く。

清正が構想し、子、忠廣が1618年から工を起こした。白川の蛇行をうまく利用した取水口である。



内山堰を少し下った所に、上井手と下井手に挟まれた「宝満神社」がある。水を司る氏神が祭られ、地域の人々の水への想いがうかがえる。

もともと、下出手沿いに家並みが出来、宝満神社が下井手右岸の高所に遷宮された。その後、上井手が神社の北側に開通し、多くの人がより高い上井手右岸に住み着くようになり、神社の上に家並みが並ぶ特異な集落の形成となった。



大林から引水へと続く空堀。加藤忠廣の上井手開削時、阿蘇郡南郷の住民も動員しての工事を行ったが、水が逆流して失敗。今でも空堀として残っている。



「丹防の吐」。引水から大津の街に入る所。ここは、阿蘇外輪山からつながる合志台地の裾野付近で伏流水が湧き、上井手が開削される以前から水に恵まれた所。この流れが平地に出た湿地帯に人々が田圃(丹防)を開いたといわれる。

上井手が開通し、交差する水の処理のため大津手永総庄屋・山隈権兵衛が、余分な水を流す「吐口」を造り、下井手に逃がしたことから「吐」の地名になった。

春 気に入りの石におもいおもいの絵をペインティングして、最後に白川わくわくランドに帰つて河川敷で拾つたお

白川と遊んだ一日になりました。

本年度第一回目の寺子屋は、「白川ハイキングとストーリーペインティング」でした。今回の寺子屋は、白川わくわくランド周辺の白川を散策して自然観察をしたり、川原で拾った石にペインティングをしたりする学習でした。自然観察では野の草を探して「食べる・作る・遊ぶ」活動をしたり野鳥観察をしたりして、春の白川河川敷で存分に楽しみました。

まず、白川を散策する前に、オドリコソウのかざぐるま作りをしたり、花の蜜を吸つたり、タンポポのわた毛をとばしたりして草花の不思議とおもしろさに触れました。まことにして草花の不思議とおもしろさに触れたので、コースを変えて川原で石投げをしたりお気に入りの石を拾つたり：そういううちに雨も上がってきたので、白川沿いを歩きました。チガヤ(つばな)を見つけ穂を食べたりカラスノエンドウでふえを作つたりしました。また、左岸側につくつてある石刎の役割について話を聞きました。龍神橋からも昔の石刎を見ることができて話を聞きました。



オオバコの茎で引き相撲。  
どっちが勝つかな。さあ、  
勝負。

「準備OK! 1、2、3、」



チガヤを見つけたよ。中の白くてやわらかい穂は  
食べられるんだよ。「ええっ、  
ほんとう」



白川河川敷で石投げや  
石拾いや水遊び。「えいっ。  
やった2かいとんだ。」



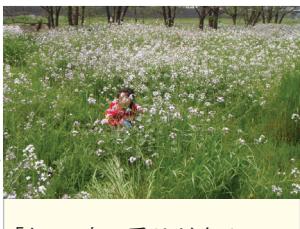
オドリコソウでかざぐるま作り。「回った、回った。  
花のかざぐるまってす  
きだね。」



子飼橋上流左岸に造られた  
石刎について学ぶ。  
「川の流れはどうなってる? 石  
刎は、川の流れを変えて堤防を  
守る役割をしているんだよ。」



カラムシの葉で遊ぶ。指  
でわっかをつくり、その上  
に葉をのせて強くなたく  
とポンと鳴るんだよ。



「わ~、春の香りがする。」  
ハマダイコンの花畠の中で。



河川敷で拾った石にペ  
インティング。

## これからのお寺子屋の案内

### 水でっぽうを作つてとばそう

日時: 6月28日(土)  
10:00~12:00  
対象: 小学生以上親子で  
参加費: 400円  
(材料費・保険代)

詳細については「白川わくわくランド」にお問い合わせください

### 子ども川の安全教室

日時: 7月19日(土)  
8:30~12:00  
対象: 小学4年~中学生  
参加費: 100円  
(保険代)

## 新刊紹介

### しづくのぼうけん



福音館書店  
マリア・テルリコフスカ  
うちだ りさこ やく



### 川遊びブック

みんなしつてた?  
川の生きもののひみつ  
プロンズ新社  
安部夏丸(絵と文)

五月十日 土曜日 「水防災・河川活動リーダー講習会」が白川わくわくランドで開催されました。河川管理者や消防局職員、河川をフィールドとして活動を行っている十九名の方の参加がありました。

講習会は、風水災害や水難事故に遭遇したときに自分の命や身を守る能力（自助）、家族や周囲の人を助ける、助け合える能力（共助）の知識や技術を習得する事のためにNPO法人白川流域リバーネットワークの主催で行われました。

午前中は、館内で参加者同士がグループになつて洪水時に考え方について話し合いました。その後、洪水の時に考えられる危険性と、その対処方法について学びました。

午後からは、洪水時を想定した模擬体験の場として、河川を利用し、冠水場所からの避難方法や自分が流されたときの身の守り方、他者が流れを体験した時



講習会の風景

分たちの認識度をチエックしました。その後、洪水時に考えられる危険性やその対処方法について話し合いました。午後からは、洪水時を想定した模擬体験の場として、河川を利用し、冠水場所からの避難方法や自分が流されたときの身の守り方、他者が流れを体験した時

に遭遇したときに自分の命や身を守る能力（自助）、家族や周囲の人を助ける、助け合える能力（共助）の知識や技術を習得する事のためにNPO法人白川流域リバーネットワークの主催で行われました。

このように、講習会は、風水災害や水難事故発生時に何も出来ず悲しい事故となつた。講習会が役立てばと感じました。

このような悲しい事故や災害を減らすためにこのようにします。

## 河川管理者、消防局、河川活動者が水防災技術を体験 講習会の開催



洪水の時に避難をする方法を考える

身を守るために知識・道具について  
川の危険箇所と洪水時の危険箇所の紹介浅瀬横断体験  
流れがある場所を横断するのは危険である。そのため、棒を使って足元に危険が無いか確かめるのと同時に、両足と棒の3点で体を安定させながら横断する方法を体験。受講者は、以外に強い動水圧に驚いていた様子!!

《水に浮くロープを使った救助法体験》

万が一、人が流されてしまつた場合の救助法の一つで、危険が少なく助けることができる。

### ～水防災に関する講習会に参加してみませんか～

風水害や水難事故の被害軽減を目的として対象者に合わせた講習会を開催しています。（どなたでも参加できます。）

#### 【水防災出前講座】

出前方式で水防災の講座を行います。以外に知られていないノウハウを学びます。

#### 【水防災・河川リーダー講習会】

講座と川を使った模擬体験により防災力を身につけます。

#### 【救助技術取得講習】

水害時や水難事故に対する救助技術の取得を目的とした講習です。

※詳細については白川わくわくランドまでお問合せください。（お問い合わせ先は、白川わくわくランドニュース1ページに記載しています）